

R7年度 一宮地区 学校図書館活用教育の活性化を図る

一宮市では、図書館司書を対象とした研修を年2回行っています。また、夏休み中には司書教諭・図書館主任を対象として、「夏季集中研修講座」を行いました。今回はその一部を紹介します。

【夏季集中研修講座の様子】

放送大学客員教授 キャリアコンサルタント アシスト工房 sky 代表 塩谷 京子博士を講師にお招きし、「授業で学校図書館を活用する～学習センター機能の活用を通して」と題し、講義を行っていただきました。



はじめに、探究の過程として、言語能力や情報活用能力等を繰り返し育成していくことが大切だと話されました。続いて、学校図書館の3つの機能～読書センター機能、学習センター機能、情報センター機能について紹介されました。その中で、学習センター機能として

- ・授業のねらいに沿った資料の整備
- ・学校図書館を活用した授業における児童生徒に関わりながらの学習支援
- ・授業のねらいに沿った図書館資料の活用

があることを説明されました。

そして、「学習センター機能」と「情報センター機能」の両方を視野に入れた授業について話されました。具体的な例として、1年生の生活科のアサガオを育てた体験を、本（知識）とつなげていくことの大切さを話されました。

また、「調べる→整理して考える→伝える」という授業の組み立てを紹介していただきました。情報を集めながら整理する中で、比較して考える、分類して考えるなどの整理の仕方を身に付けさせることが必要ということでした。また、タブレットを活用した「思考ツール」を使いながら伝える授業を紹介していただきました。

最後に、「両手に図書館資料、タブレットという情報ツールがあっても、どちらも自分の考えは作ってくれない。考えを持つのは自分自身だ」と話されました。

これからの図書館運営や授業に生かせる大変有意義な研修となりました。

参加者の感想より

- ・図書館が機能的なものになるようにしていきたいと思いました。
- ・司書との連携が大切だと感じました。
- ・情報を整理していく力を育てたいと思いました。